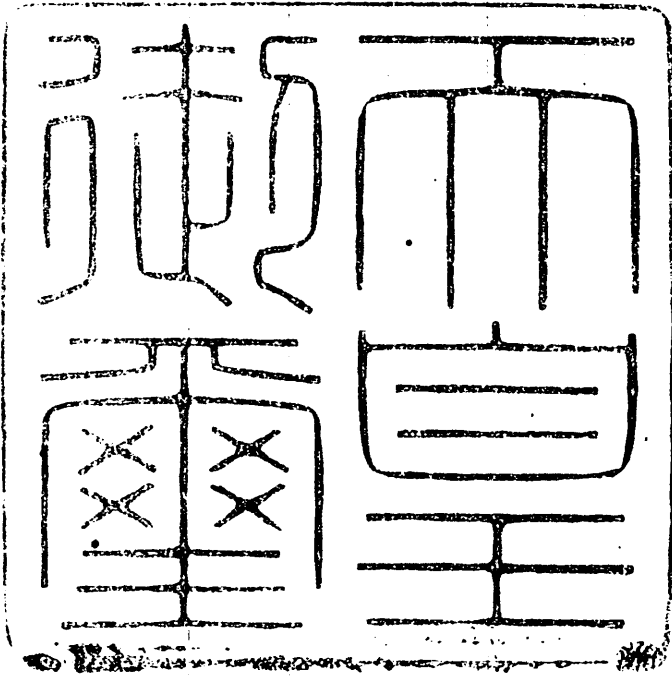


勅令第百三十一號

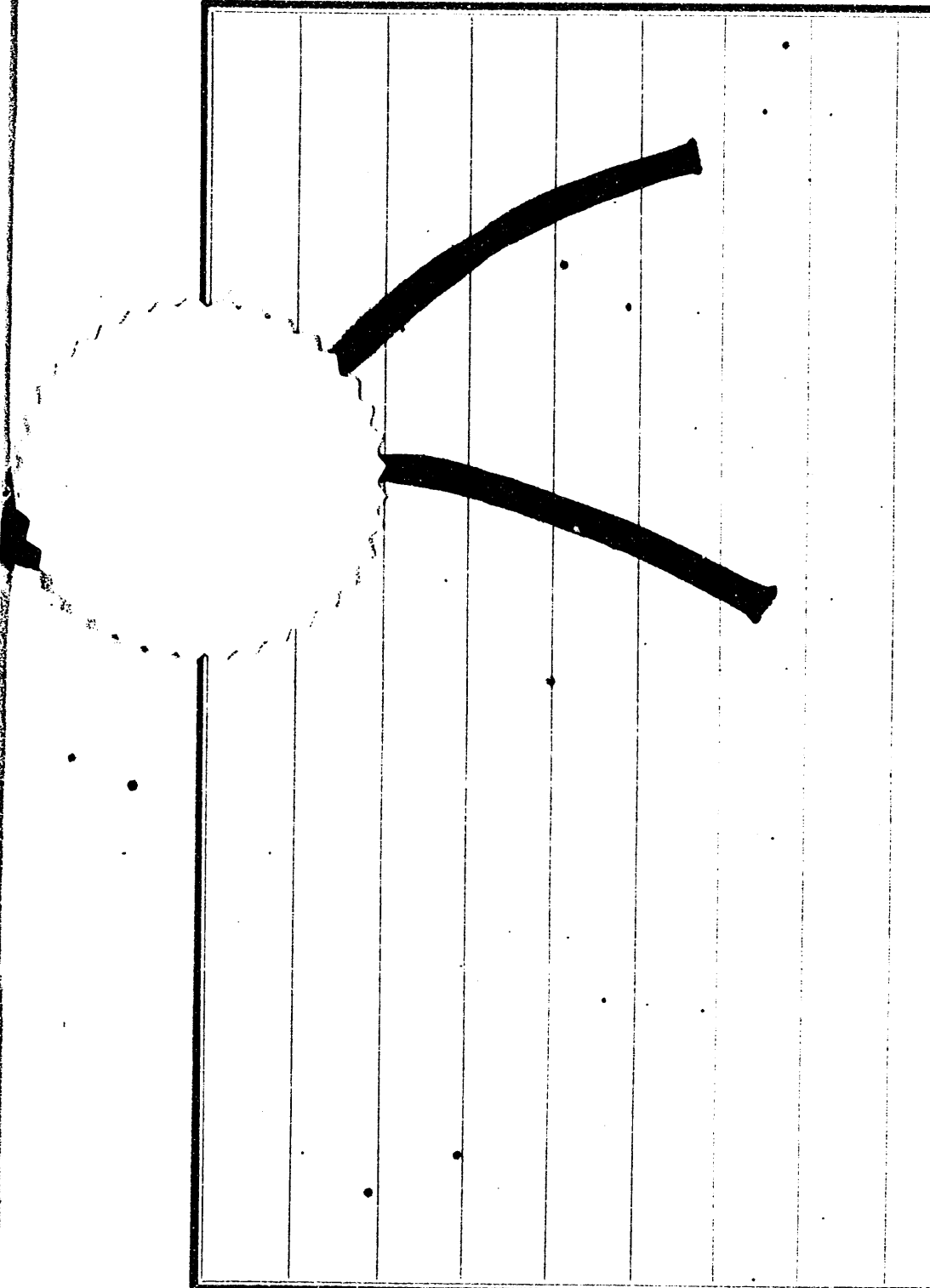
朕南洋廳特別會計規則ヲ裁可シ茲ニ之
ヲ公布セシム

嘉仁
裕仁



大正十一年三月三十日

内閣總理大臣兼子爵西園寺公望
大藏大臣 大藏大臣 西園寺公望



勅令第百三十一號

第一條 歳入歳出ノ豫定計算書ハ所管

大臣之ヲ調製シ前年度九月三十

日迄ニ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二條 所管大臣ハ南洋廳長官ヲ以テ

支出官トシ南洋廳特別會計ニ屬スル

歳出ヲ支出スル為小切手ヲ振出サシ

南洋廳長官ハ部下ノ官吏ニ分任シテ

南洋廳特別會計ニ屬スル歳出ヲ支出

附

スル為小切手ヲ振出サシムルコトヲ
得

第三條 南洋廳長官ハ毎年度決定ノ豫
算定額ニ基キ支出官毎ニ所要ノ費額
ヲ定メ支拂豫算ヲ調製シ所管大臣ヲ
經由シテ大藏大臣及會計検査院ニ送
付シ同時ニ其ノ旨日本銀行ニ通知ス
ヘシ支拂豫算ヲ更定シタルトキ亦同
シ
第四條 南洋廳長官ハ年度内一時收入

金額ニ不足ヲ生スルトキハ其ノ不足
金額ヲ豫定シ所管大臣ヲ經由シテ大
藏大臣ニ支拂元金ノ繰替ヲ請求スヘ
シ
大藏大臣ハ前項ノ請求ナキトキハ支
拂元金ニ超過シタル小切手ノ支拂ヲ
停止セシムルコトアルヘシ

第五條 南洋廳長官ハ會計規則第二十
八條ノ規定ニ基キ發シタル勅令ニ依リ
第一豫備金ノ支出ヲ為シタルトキハ

其ノ金額及理由ヲ示ス所ノ計算書ヲ
添附シ所管大臣ヲ經由シテ之ヲ大藏
大臣ニ通知スヘシ
第六條 大藏大臣第一豫備金支出ノ通
知ヲ受ケタルトキハ之ヲ會計検査院
ニ通知スヘシ

第七條 歳入徴收官ハ毎月徴收報告書
ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘ之ヲ南洋廳
長官ニ送付スヘシ
第八條 南洋廳長官ハ徴收報告書ニ依

リ毎月徴收總報告書ヲ調製シ参照書
類ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌
月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ
第九條 支出官ハ毎月支出濟額報告書
ヲ調製シ之ヲ南洋廳長官ニ送付スヘシ

第十條 南洋廳長官ハ支出濟額報告書
ニ依リ毎月支出總報告書ヲ調製シ支
出濟額報告書ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由
シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送
付スヘシ

付スハシ

第十一條 南洋廳長官ハ上地ノ情況ニヨリ會計規則第九十九條ノ保證金ヲ免除スルコトヲ得

第十二條 歳入歳出ノ決定計算書ハ豫定計算書ト同一ノ區分ニ依リ所管大臣之ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ大藏大臣ニ送付スハシ

第十三條 南洋廳ハ歳入簿ヲ備ヘ歳入ノ豫算額、調定濟額、收入濟額、不納缺損

額及收入未濟額ヲ登記スハシ

第十四條 南洋廳ハ歳出簿ヲ備ヘ歳出ノ豫算額、豫算決定後増加額、支出濟額、翌年度繰越額及殘額ヲ登記スハシ

第十五條 本令ニ規定セザルモ、ハ會計規則、定ムル所ニ依ル但シ會計規則第四十二條、第八十五條、第八十八條、第九十二條、第九十七條、第九十八條、第一百

四條、第一百二十五條、第一百二十六條、第一百二十九條、第一百三十四條、第一百三十五條

一

第二項第百三十六條乃至第百三十八條第百四十四條及第百四十六條中各省大臣又ハ所管大臣トアルハ南洋廳長官トス

附則

承令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス